

令和 8 年 度

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

農 業 用 排 水 施 設 整 備 事 業

都 道 府 県 名 : 福 岡 県
地 区 名 : 長 湊 地 区
所 在 地 : 朝 倉 市
事 業 主 体 : 福 岡 県

次

第1章	目	的	1	2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	
					並びに専兼業別農家数	19
第2章	地	域	及	地	積	1
第1節	地	域				1
第2節	地	積				2
第3章	現	況				3
第1節	気	象	及	び	海	象
1	一	般	気	象		3
2	特	殊	気	象		3
3	海	象				4
第2節	土	地	状	況		4
1	地	形、土	壤	及	び	浸食の程度
2	土	地	分	類		6
3	土	地	利	用	の	状
4	土	地	所	有	の	状
第3節	水	利	状	況		9
1	用	水	状	況		9
2	排	水	状	況		13
3	河	川	状	況		16
第4節	道	路	現	況		17
1	道	路	概	況		17
2	主	要	道	路	一	覧表
第5節	地	域	農	業	の	概
1	産	業	別	就	業	人
						18
						2
						3
						4
						5
						第6節
						1
						2
						第4章
						第1節
						1
						2
						第2節
						1
						2
						3
						4
						5
						6
						7
						第3節
						1
						2
						3

4	計 画 用 水 量	30
5	水 源 計 画	31
第4節	排 水 計 画	37
1	計 画 基 準 雨 量	37
2	計 画 排 水 方 式	37
3	計 画 排 水 系 統	37
4	計 画 排 水 量	38
5	排 水 対 策	39
6	湛 水 検 討	41
第5節	道 路 計 画	42
1	道 路 及 び 索 道	42
2	路 線 配 置 図	43
第6節	農 用 地 造 成 計 画	44
1	農 用 地 造 成 計 画	44
2	土 壌 改 良	44
第7節	洪 水 調 節 計 画	45
1	計 画 基 準 雨 量	45
2	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	45
3	貯 水 池	45
4	洪 水 調 節 検 討	46
5	管 理 計 画	46
第8節	干 拓 計 画	47
第9節	農 用 地 整 備 計 画	48
1	区 画 整 理	48
2	暗 渠 排 水	50
3	客 土	51
4	農 地 保 全	51
第10節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	53
1	洪 水 吐 改 修 計 画	53
2	堤 体 補 強 計 画	53
3	取 水 施 設 改 修 計 画	53

第5章	主 要 工 事 計 画	54
第1節	用 水 施 設	54
1	貯 水 池	54
2	頭 首 工	55
3	揚 水 機	56
4	用 水 路	57
5	その他かんがい施設	57
第2節	排 水 施 設	58
1	排 水 水 門	58
2	排 水 機	58
3	排 水 路	59
4	その他排水施設	59
第3節	道 路 及 び 索 道	60
1	道 路	60
2	索 道	62
第4節	農 用 地 造 成	63
1	農 用 地 造 成	63
2	土 壌 改 良	65
第5節	洪 水 調 節 施 設	66
1	貯 水 池	66
2	頭首工及び導水路	66
第6節	干 拓 施 設	67
1	堤 防	67
2	潮 止 め	67
3	附 属 施 設	68
4	埋 立	68
第7節	農 用 地 整 備 施 設	68
1	区 画 整 理	68
2	暗 渠 排 水	70

3	客 土	71	第 3 節	換地計画樹立の基本方針	75
4	除 礫	71	1	従前の土地の地積の基準	75
5	農 地 保 全	72	2	用途別予定地積	76
第 8 節	老朽ため池改修施設	73	3	農用地集団化の方針	77
1	貯 水 池	73	4	非農用地換地の方法	77
2	堤体補強施設	73	第 4 節	土地の評価及び清算の方法	78
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	74	1	評 価 の 方 法	78
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	74	2	清 算 の 方 法	78
第 8 章	環境との調和への配慮	74	第 5 節	換地計画樹立の年度計画	78
			第 6 節	換地処分の時期に関する特則	78
			第 10 章	事業費の総額及び内訳	79
			第 11 章	効 用	79
			第 12 章	関 連 す る 事 業	80
			第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	80
第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	75	1	現 況 平 面 図	80
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	75	2	計画平面図及び土地利用計画図	80
第 2 節	換 地 区 の 設 定	75	3	主 要 構 造 図	80
1	換地区の名称、所在、面積	75			
2	換地区を設定する理由	75			

第1章 目 的

(1) 必要性

長湊地区は、農地の割合が大きく、特にハウスが密集した地域である。農業排水は、自然排水方式であり、各ほ場から地区内排水路を流下し、末端の排水樋管を介して筑後川に至る。

しかしながら、本地区は大雨等で筑後川の水位が上昇すると排水樋管からの自然排水が出来なくなるため、排水不良を起こしやすい地域特性を持つ。そのため、近年の局地的な集中豪雨の増加などの降雨形態の変化も相まって、排水不良による内水氾濫が生じており、これによる地区内の農地の湛水被害が常態化している。

このような実態から、地元関係者等からも、排水対策の実施について強い要望が挙げられており、近年の降雨形態を踏まえた排水対策を講じて、地区内の農地湛水被害の軽減を図ることが急務となっている。

(2) 緊急性

直近10ヶ年程度においても、内水氾濫による農地湛水被害が頻発しており、その度に作物に甚大な被害が発生している。農業経営の安定化に資するためにも、早急な湛水対策の実施が望まれる。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農業用排水施設整備事業	受益地：福岡県朝倉市 長湊地区

第2節 地 積

(令和 7年 3月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設整備事業	朝倉市	33.7	3.3			-	37.0	
	計	33.7	3.3				37.0	
	計							
	計							
	計							
	計							
	計							
	計							
	計							
合計		33.7	3.3				37.0	

第3章 現 況

第1節 気 象 及 び 海 象

1. 一 般 気 象

(第3表－1)

観測所名		朝倉観測所		かんがい期		非かんがい期		計 又 は 平 均	備 考
観測期間		1991年～2020年		4月～10月		11月～3月			
平 均 気 温 (° C)				21.7 ° C		7.8 ° C		15.9 ° C	気象庁ホームページより (平年値：1991～2020)
降 水 量	平 均	(mm)	1,531.4 mm		421.7 mm		1,953.0 mm		
	基 準 年	(mm)	－ mm		－ mm		－ mm		
降水日数	平 均	(日)	72.4 日		46.1 日		118.6 日		
	基 準 年	(日)	－ 日		－ 日		－ 日		
根 雪 期 間				該当なし				－ 日間	
無 霜 期 間				該当なし				－ 日間	
最 多 風 向				西北西		最 大 風 速 (風向)		20.0 m/s (南)	最 多 風 向 発 生 時 期 － 最大風速発生年月日 2019/9/22

2. 特 殊 気 象

(第3表－2)

観 測 所 名 朝 倉 観 測 所 観 測 期 間 1976年～2023年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率
	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率
最 大 日 雨 量 (mm)	516.0	2017/7/5	1/650	295.5	2018/7/6	1/30	290.5	2023/7/10	1/25	253.5	2020/7/6	1/15	252.5	2019/7/21	1/15
最 大 時 間 雨 量 (mm)	129.5	2017/7/5	1/1000	80.0	2022/8/24	1/20	74.5	2009/8/15	1/10	72.5	2023/7/10	1/10	69.0	2004/9/19 2020/6/27	1/8
最大4時間雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最大連続雨量 (mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最大連続干天日数 (日)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名	既往最高位 既 潮	さく望平均位 満 潮 位	上下弦平均位 満 潮 位	平均潮位	上下弦平均位 干 潮 位	さく望平均位 干 潮 位	既往最低位 既 潮	備考
観測期間	(m)	(m)	(m)	該当なし	(m)	(m)	(m)	
実 測 値	()						()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(1) 地形

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備 考
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高	最 低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°						
農業用排水施設整備事業	面 積 (ha)	-	33.7	-	-	-	33.7	3.3	-	-	-	-	-	-	3.3	21.1	18.3	
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			
	面 積 (ha)																	
	比 率 (%)																	
合 計	面 積 (ha)	-	33.7	-	-	-	33.7	3.3	-	-	-	-	-	-	3.3			
	比 率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			

(2) 土壌

(第4表－1－2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考
	土 壌 断 面							堆積様式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植	礫層	酸 化 沈澱物	土 性					農業用排水施設 整備事業	計		
					表 土	下 層 土						泥炭層・黒泥層 及びグライ層	
					一 層	二 層	三 層						
中粒質普通低地水田土	灰色	-	-	-	-	-	-	なし	水積	片岩	37.0		37.0
計											37.0		37.0

(3) 浸食の程度

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
			～ 25%	25 ～ 50%	50%以上		3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面 積 (ha)					該当なし						
	比 率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計	備 考	
	一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地				
		※	3° ～8°	8° ～12°	12° ～15°	※	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	※	30° 以上			
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
該当なし														※は 傾斜以外の要因 によるもの
計														

2. 土地分類

(第4表-2-1)

級位別 市町村名	干 拓					備 考
	一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
						該当なし
計						

3. 土地利用の状況

(令和 7年 3月現在)

(第4表－3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地山林								採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水施設整備事業	朝倉市	33.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.0	
	計	33.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.0	
	計													
	計													
	計													
合 計		33.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.0	

4. 土地所有の状況

(令和 7年 3月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個 人 別				計	備 考
農業用排水施設整備事業	面 積 (ha)	37.0				37.0	
	受 益 者 数 (人)	58				58	
	筆 数 (筆)	236				236	
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)	58戸					
	面 積 (ha)						
	受 益 者 数 (人)						
	筆 数 (筆)						
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)						
合 計	面 積 (ha)	37.0				37.0	
	受 益 者 数 (人)	58				58	
	筆 数 (筆)	236				236	
	権 利 関 係						
	備 考 (関係戸数)	58戸					

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

該当なし

(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積								水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		100ha 以上		100ha ~ 50ha		50ha 未満		計							
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S	m ³ /S	
農業用排水施設整備事業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計										—			—	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計											—		—	—	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又 は 更新年月日	改修を必要とする理由	備 考
	施設名							
農 業 用	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
排 水 施 設	計							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
整 備 事 業	そ の 他							
	計							
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
業	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計								

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(7) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項 目 系 統 名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m³)	不 足 水 量				平均減産量 (t)		備 考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平 均 (m³/s)	基 準 年 (m³/s)	平 均 (千m³)	基 準 年 (千m³)			
農業用排水施設整備事業		-		-	-					
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	
				該当なし						
	計									
	合 計	-	-	-	-					

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時 期 別	かんがい 面 積 (ha)	水 温 (°C)		水 質	被 害 量 (t)	備 考
			最高	最低			
					該当なし		

(4) 堤防決壊の場合の想定被害状況

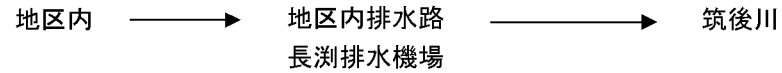
(第5表-3-3)

事業名		想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)							人命 (人)	備考
		水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	一般施設	公共施設	その他	計		
農業用排水施設整備事業					-							-		
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	計													
	計													
合 計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統



(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500ha 以上		500 ～100ha		100ha 未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農業用排水施設整備事業	自然	排水路											
		水門					1	30.1	1	30.1	-	11.34	排水能力は想定
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						1	30.1	1	30.1	-	11.34	
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計							1	30.1	1	30.1	-	11.34	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 個所数	受益面積 (ha)	構造規模 (m)	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設整備事業	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
合計								

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

(第5表－6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均 減 産 量		平均維持 管理費 (千円)	備 考
					湛水深 (cm)	湛 時 水 間 (hr)	湛 面 水 積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
	乾				湿	乾	湿	乾	湿	乾	湿							
農業用排水施設整備事業	筑後川	30.1	平均	432.1 (1/20)	0～76cm	0～8	30.1	-	30.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
			基準年															
			平均															
			基準年															
計		30.1	平均				30.1	-	30.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表-7)

項 目	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備 考
河川名			該当なし			

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
区 分					
過 去 の 最 大 被 害 額					
平 均 被 害 額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

2. 主要道路一覽表

(第6表)

[illegible]

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

令和2年国勢調査より

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
朝倉市	24,108	3,032	63	8	14	1,862	3,793	63	1,468	3,451	294	270	7,931	686	1,173	
計	24,108	3,032	63	8	14	1,862	3,793	63	1,468	3,451	294	270	7,931	686	1,173	
比 率 (%)	100.0	12.6	0.3	0.0	0.1	7.7	15.7	0.3	6.1	14.3	1.2	1.1	32.9	2.9	4.9	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

2020年農林業センサスより

(第7表-2)

区 分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕 地 の 分 散 状 況		専兼業別農家数 (戸)			備 考
		例外 規定の適用を うけるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家 ha	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当たり 団地 数	団地 当たり 面積 (ha)	専 業	兼 業		
			～ 0.5	～ 1.0	～ 1.5	～ 2.0	～ 3.0	～ 5.0	～ 10.0	～ 20.0	以上											第一種	第二種	
朝倉市	2,222	113	208	467	297	172	168	95	53	30	19	698	2.27	0.49	0.86	2.16	1.63	2.16	－	－	－	－	－	
計	2,222	113	208	467	297	172	168	95	53	30	19	698	2.27	0.49	0.86	2.16	1.63	2.16	－	－	－	－	－	
比 率 (%)	100.0	5.1	9.4	21.0	13.4	7.7	7.6	4.3	2.4	1.4	0.9	31.4												

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2020年農林業センサスより

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具						主 要 家 畜						備 考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳 用 牛		肉用牛		採卵鶏		
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (100羽)	戸 数 (戸)	
朝倉市	-	-	-	-	-	-	1,479	24	x	16	5,142	6	
計							1,479	24	-	16	5,142	6	
100戸当たり数量(頭、100羽)							6,163		-		85,700		
利用戸数割合 (%)	-		-		-								

4. 主要作物作付状況

第71次福岡県農林水産統計年報より

(第7表－4)

市 町 村 名			朝 倉 市					計	平 均	作 付 率	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)			4,790					4,790	4,790			
総 本 地 面 積 (ha)			4,650					4,650	—			
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表 作	水 稻	1,740	478					1,740	478	36.3	
		豆 類	485	222					485	222	10.1	大豆
	裏 作	麦 類	1,496	453					1,496	453	31.2	小麦、大麦、 はだか麦
	小 計		3,721						3,721			
畑												
	小 計											
樹 園 地												
	小 計											
計			3,721						3,721			
市町村別延べ作付率 (％)			77.7						77.7			

5. 農業の動向

市町村名： 朝倉市

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状 況 (0年を 100とする 指数)	総 農 家 数	71	59	耕 地	91	90	水 稻	92	84	乳用牛	66	69	田植機	61	-	過疎地域(朝倉町) 中山間地域(朝倉町) 特定農山村地域(朝倉町)	A: 2020年 (農林業センサス、作物統計) (統計年報、国勢調査) B: 2015年 (農林業センサス、作物統計) (統計年報、国勢調査) C: 2010年 (農林業センサス、作物統計) (統計年報、国勢調査)
	専 業 農 家 数	89	-	田	92	93	麦類	100	102	肉用牛	X	X	トラクター	68	-		
	第 一 種 兼 業 農 家 数	69	-	畑	89	82	豆類	125	114	採卵鶏	4	133	コンバイン	60	-		
	第 二 種 兼 業 農 家 数	61	-														
	農 業 従 事 者 数	89	75														
変化の 理 由	他産業への転業及び後継者不足により減少している。 社会的諸条件の変動により、都市近郊型農業への進展による経営体の集約。			耕地面積は、農地転用等により減少している。			概ね横ばいで推移している。 大豆は集団作付への取り組みによる増。			高齢化や後継者不足などにより畜産農家が減少している。			都市化による労働力不足の 為、中核経営体による一部作業の受託、又、大型機械の共同利用が進んでいる。				- : データなし X : 数値の公表なし

第6節 地域環境の概況

1. 植物、動物等生態系の概要

【文献調査】参考：朝倉市農村環境計画、福岡県RDB(2011,2014)

植 物：ツゲ林など植生7件。サクラソウ、ズミ、ホソバママコナなど植物26種類。

哺乳類：カヤネズミ、スミスネズミ、ニホンザルなど6種類。

鳥 類：クマタカ、ブッポウソウ、アオバズクなど13種類。

両生類：トノサマガエル、ヤマアカガエル、アカハライモリの3種類。

鱗翅目：オオウラギンヒョウモン、シルビアチジミ、オオムラサキなど16種類。

【希少種分布状況】参考：福岡県希少野生生物分布情報(<http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~kankyouseibutsu/gis/gis.html> 2017.5.29更新)

希少植物確認種数 1種

希少生物確認種数 0種

2. 土地利用状況の概要

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部、福岡市の南東約30km、久留米市の北東約20kmに位置し、総面積24,671haを有している。この広大な市域の約55%が森林で最も多く、気候は年平均気温15.9度であり、年間降雨量1,931mmで、全般的に温暖である。

地形的には、山間・山麓、中山間、平坦地等に大別でき、市内を西から南東へと向かう国道386号の南側は平野部であり、北部から東部にかけは、800～900m級の山々が連なっている。

市域西端部には、商工業を中心とした市街地を形成しており、また、市域南部は境界にほぼ沿うかたちで筑後川が流れ、河川沿いを中心に肥沃かつ平坦な農地を形成している。そこでは、博多万能ねぎをはじめとする農産物の生産が行われ、その東には山間丘陵地が広がり、ここでは果樹の生産が行われ、農産品の生産と観光・交流の場として、貴重な地域資源となっている。

交通は、福岡方面と日田方面を結ぶ国道386号線が東西に走り、主要幹線道路となっており、市の南北を貫く国道322号、500号などの幹線道路と、県道・市道が各地域を結んでいる。また、市域の中心部を東西に大分自動車道が走り、甘木、朝倉、杷木の3つのインターチェンジが整備されているほか、甘木駅を起点とする2つの鉄道と、国道・幹線道路をはじめとする道路網により周辺都市との連携が図られている。

※参考文献：朝倉市農村振興地域整備計画書（平成27年11月）

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

項 目	事 業 を 必 要 と す る 理 由	改 修 ・ 補 強 工 法
長洲排水機場	朝倉市の長洲地域では、近年において内水氾濫が頻発し、家屋や農地に大きな被害が発生している。 末端排水施設の能力不足が湛水被害の一因であるため、早急に排水機場整備を行い、農地の湛水対策を行う必要がある。	排水機場工 一式 コラム式水中ポンプφ800×2台(全排水量2.9m³/s)

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設整備事業																					計 (ha)	備 考
	水	普	牧	果	茶	樹そ の 園 他	小	水	普	牧	果			小	水	普	牧	果			小		
	田 (ha)	畑 (ha)	畑 (ha)	園 (ha)	園 (ha)	地の (ha)	計 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	畑 (ha)	園 (ha)	(ha)	(ha)	計 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	畑 (ha)	園 (ha)	(ha)	(ha)	計 (ha)		
排水改善	33.7	3.3					37.0															37.0	
計	33.7	3.3	-	-	-	-	37.0															37.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

市の農業は、筑後川水系による肥沃な南西部平坦地と古処・馬見山系の北東部山麓地域に大別され、それぞれの地域特性に応じた経営が展開されている。南西部平坦地域では、米、麦、大豆の土地利用型農業をはじめ、花き等の施設園芸や植木等及び畜産経営など多様な経営が行われており、北東部山麓地域では、米、果樹及び野菜の露地栽培が行われている。

2. 土地利用区分

事業名	土地利用区分	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	区分													
農業 用 排 水 施 設 整 備 事 業	現 況	33.7		3.3					37.0				37.0	
	計 画	33.3		3.3					36.6			0.4	37.0	
計	現 況	33.7		3.3					37.0				37.0	
	計 画	33.3		3.3					36.6			0.4	37.0	

3. 作 付 方 式

(第9表－2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												4 年 目												5 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
農業用排水施設整備事業	現況	田	表																																																													○—○ 播種 △—△ 移植 ×—× 収穫
			裏																																																													
		普通畑	表																																																													
			裏																																																													
	計画	輪換耕地	表																																																													
			裏																																																													
		普通畑	表																																																													
			裏																																																													

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積			作付率		単位面積当たり収量			生産量			同増	左減	生産量の内訳		備考	
			(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)					(t)			
	作物名		現	計	増	現	計	現	計	増	現	計	増	面積増減	り収量増加	単位面積当た			
土地利用区分			況	画	減	況	画	況	画	減	況	画	減	減	加	た			
農業用排水施設整備事業	水	表作																	
		〃																	
		〃																	
		〃																	
		〃																	
		〃																	
	田	裏作																	
		〃																	
		〃																	
	普通畑	〃																	
		〃																	
	畑	秋冬作																	
計																			
合計																			

該当なし

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作物面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
	水田			人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
	普通畑			人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
	計							
	合計							

該当なし

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区 分 土地利用区分		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表－6)

項 目 区 分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備 考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
				該当なし						
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用 水 計 画

1. 計 画 基 準 年

—

2. 計画かんがい方式

—

3. 計画用水系統

—

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

[illegible]

(1) 水利用計画

(第 10 表-2)

[illegible]

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利 用 目 的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名							
				計	単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
					該当なし				

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名	項目	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)		純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
				事業名						
		直接	間接	ため池等 整備事業	計					
該当なし										

(第 10 表—4)

該当なし

(ウ) 揚 水 機

(第10表-5)

項 目 名 称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大 (m³/s)	平 均 (m³/s)	実 揚 程 (m)	揚 水 量 (m³/s)	台 数 (台)	全 揚 水 量 (m³/s)	
				計							
該当なし											

(第 10 表-6)

該当なし

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水 温 水 質

該当なし

第4節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

432.1 mm/3日 (1/20)

2. 計画排水方式

機械排水方式（排水機場）

3. 計画排水系統

現況排水系統から変更なし

4. 計 画 排 水 量

(第 1 1 表－ 1)

排水系統名	項 目			受 益 面 積 (ha)		流 域 面 積	基 準 雨 量	降 雨 に よ る 直 接 単 位 量		基 底 流 出 量		全 排 水 量 (m³/s)			単 位 排 水 量		備 考
	事 業 名			計	(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		山 地	平 地		(m³/s/km²)		
	整農 備業 事業 排水 施設				山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地			
長渚排水機場（長渚地区）	37.0		37.0	—	1.88	432.1			—								
計	37.0		37.0	—	1.88	432.1	—		—		—		—	—			

5. 排 水 対 策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
		該当なし								
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項 目 名 称	流域 面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
		水農業 備施設用 事業整排		計							
長 渚 排 水 機 場	1.88	37.0		37.0	2.9	0.43	12.16	1.45	2	2.9	
計											

(3) 排水路

(第 1 1 表—4)

[illegible]

(4) そ の 他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道 路 計 画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

項 目	幅（有効） × 延長 （m） （km）	構 造	既設道路との関係	備 考
路線名				

該当なし

(2) 索道

(第 1 2 表－ 2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該当なし			

2. 路線配置図

—

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
			該当なし		

(1) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土 壌 統(区)名	p H		置換酸度 (Y ₁)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備 考
			H ₂ O	K C l			石 灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	
					該当なし					

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計 画 洪 水 量 (m ³ /s)	安 全 洪 水 量 (m ³ /s)	必 要 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)
					該当なし					

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項 目	流 域 面 積 (km ²)		計 画 洪 水 量	貯 水 量 (千m ³)			計画調節流量	可能調節流量	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			
				該当なし					

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計 画 高 潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考
			該当なし			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

該当なし

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考

該当なし

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集 水 渠 出口以下 の 排 水 式	備 考
	事 業 名								
	農地環境整備		計						
				</					

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項 目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			

3. 客 土

(第16表-4)

項 目 区分	面 積 (ha)			(土 区) 壤 名 統	減 水 深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客 土 量 (m ³)	土 壌 の 性 質		備 考
	事 業 名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採 土 地 (客土材料)	
			計									
					該当なし							
計												

4. 農 地 保 全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
		該当なし		

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m³/s/ha)	全排水量 (m³/s)	

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項 目 施設名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
		該当なし		
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観測機関名	該当なし
	計画基準雨量	
	計画根拠	

(2) 計画洪水量

集水面積	直接	-	合計
	間接		- ha
計画洪水量	計算式 流出率 計画洪水量	該当なし	

2. 堤体補強計画

—

3. 取水施設改修計画

—

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名 称				位 置							
堤 体	型 式	流 域 面 積 (Km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯 水 量 (千m ³)		備 考	
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量		
						該当なし					
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)	備 考	

2. 頭 首 工

(第 17 表 - 2)

名 称					位 置			備 考
型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m3/s)	付 帯 施 設		
		固 定 部	可 動 部				計	
該当なし								

該当なし

3. 揚 水 機

(第 1 7 表－3)

項目 名称	位置	揚水機 (m³/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
該当なし											

4. 用水路

(第 17 表-4)

[illegible]

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	備 考
			該当なし				
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/s)	揚 程 (m)		排 水 機		原 動 機			備 考	
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()		台 数 (台)
長 渚 排 水 機 場	朝倉市長渚	2.9	12.16	7.80	コラム形 水中 モーター ポンプ	φ800	2	電動	250kW	1	
計											

(第 18 表-3)

該当なし

水路拡幅工 1箇所

1. 道路

(第 19 表—1)

該当なし

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項 目 路 線 名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
該当なし					

2. 索 道

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	
該当なし						

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項 目	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 たり 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分						
			該当なし			
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項 目	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 たり 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分					
			該当なし		
計					

(3) 開 墾 作 業

(第20表-3)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分	地 目			
	造 成 工 法			
		該当なし		
	計			

(4) 地 目 変 換

(第20表-4)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分	地 目			
		該当なし		
	計			

(5) 末 端 用 水 路 等

(第20表-5)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分	地 目				
			該当なし		
	計				

(6) 末 端 排 水 路 等

(第20表-6)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分	地 目				
			該当なし		
	計				

2. 土 壤 改 良

(第20表-7)

項 目 区 分	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
		該当なし			
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名 称			位 置			計 画 洪 水 位	付 帯 施 設	備 考
			堤 長 (m)					
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	固 定 部	可 動 部	計	(m)		
該当なし								

(2) 導水路

(第21表-3)

項 目	通 水 量 (m ³ /s)	堤 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		ト ン ネ ル	そ の 他	計			
水路名							
該当なし							

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造					原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤 頂 標 高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛 土 標 高 及 び 舗 装	上 流 斜 面	下 流 斜 面	平 均	最 低	
					該当なし					

2. 潮 止 め

(第22表-2)

項 目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考
				該当なし			

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第 2 2 表－ 3)

項 目 区 分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考

該 当 な し

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第 2 3 表－ 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

該 当 な し

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該当なし		
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該当なし		
計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠					集水渠出口以下 の 排 水 施 設			備 考	
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
			計														

該当なし

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

該当なし

3. 客 土

(第23表-5)

区 分	面 積 (ha)			客 土 土 量 (m³)	土 取 場 土 量 (m³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事業名							
			計					
				該当なし				
計								

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
			該当なし			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
			該当なし	
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
		該当なし	
計			

第8節 老朽化ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考
					該 当 な し			
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考		型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考
					取 水 施 設			

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 な し

(2) 漏水防止工

該 当 な し

第6章 付帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …………… 令和 8 年 4 月

完了予定年度 …………… 令和 1 3 年 3 月

第8章 環境との調和への配慮

- ・ 工事实施の際は土砂や濁水の発生を極力防止し、発生した場合でも直接河川へ流さないよう留意する。
- ・ 希少生物と思しき生物が発見された場合は、類似環境へ移動させるなどの配慮を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
該当なし		

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
該当なし	

2. 用途別予定地積

(単位 : ha)

(第25表-3)

[illegible]

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	一 戸 当 り 目 標 団 地 数	区画畦畔の取り扱い
		該当なし		

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略 面 積 (㎡)	換 地 の 手 法	換地取得予定者	そ の 他
		該当なし			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考

該当なし

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名		農業用排水施設整備事業	備考
区分		(千円)	
工事費		2,016,000	令和6年度単価 (ただし、物価変動等により将来 変動することがある)
測量試験費		65,000	
用地費及び補償費		17,000	
換地費		—	
工事雑費		41,000	
地方事務費		106,000	
計		2,245,000	
(関連事業 参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年増加見込効果額	年増加見込所得額	備考
	区分	(千円)	(千円)	
農業用排水施設整備事業	作物生産効果	17,884	471	
	営農経費節減効果	3,395	3,395	
	維持管理費節減効果	△3,673	△2,194	
	災害防止効果(農業関係)	131,753		
	災害防止効果(一般関係)	14,061		
	災害防止効果(公共関係)	9,716		
	国産農産物安定供給効果	1,421		
	計	174,557	1,672	

<参考>

総費用額： 2,862,958 千円 総便益額： 3,575,078 千円 総費用総便益比： 1.24 所得償還率： —

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
前歴事業	県営ほ場整備事業 朝倉地区	県	361ha	維持管理費節減や水田汎用化に資するほ場整備。 (S45～S50)
	県営ほ場整備事業 蜷城地区	県	282ha	維持管理費節減や水田汎用化に資するほ場整備。 (S47～H4)
	排水対策特別事業 長淵地区	県	39ha	湛水被害解消のため、排水路の改修。 (H2～H4)

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図

別 図 添 付

2. 計画平面図及び土地利用計画図

別 図 添 付

3. 主要構造図

別 図 添 付